

## 諮問事項に係る先進事例の視察について（案）

※本資料は、ホームページ等の情報を抜粋、またはまとめて作成しものです。

※候補の中から調整の上、2市程度、視察を実施予定です。

### 1 宮城県仙台市

#### (1) 協働まちづくりの手引き・協働まちづくりの実践

- ・「協働まちづくりの手引き」は、多様な主体の参加による協働のまちづくりを推進し、まちづくりの担い手の裾野を広げていくため、協働の考え方や進め方をまとめたもの。
- ・「協働まちづくりの実践」は、市内の25の協働事例について、協働を実践する人々の活動に対する思いや活動団体相互の協力体制を写真や図解を交えて紹介したもの。

#### (2) 仙台市協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」

- ・仙台市の支援制度や施設・相談窓口の紹介のほか、活動を充実させるためのヒントとなる活動事例やデータ・手引きを掲載するなど、様々な人が活用できる情報を発信する。

当サイトでは協働によるまちづくりのための支援制度・相談窓口や、活動事例をご紹介します。

仙台市協働ナビ  
できるよ！仙台  
みんなでつながればできる！

文字の大きさを変更 小 中 大

サイト内検索

ホーム 仙台市の協働とは 支援制度を知りたい 施設を使いたい 相談したい

みんなでつながり思いを実現するための、  
さまざまなサポート情報を発信しています。

STEP 1 活動事例を知りたい  
市内に広がる取り組みを知り、  
活動をイメージしてみよう

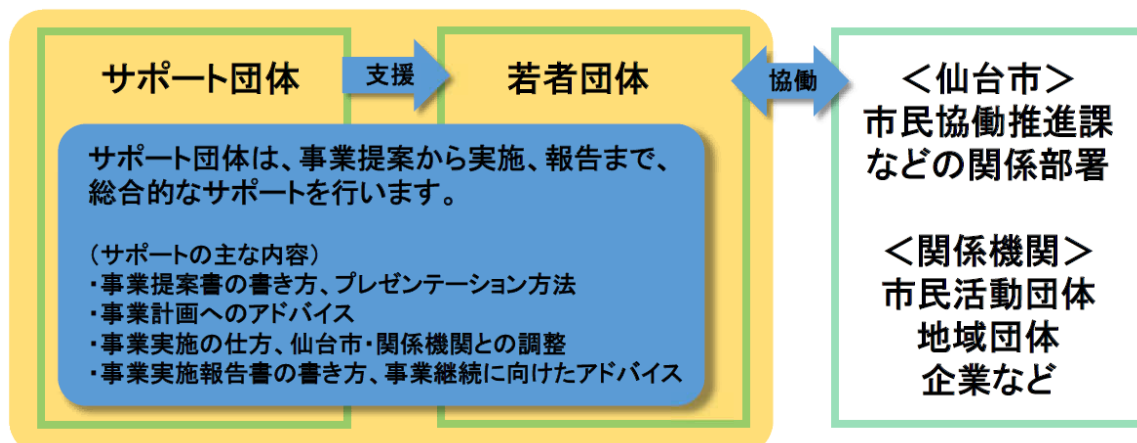
STEP 2 活動を始めたい  
計画づくりや仲間探しなど、  
活動や協働の初めの一歩を踏み出そう

STEP 3 活動を進めたい  
活動や協働を進めるための  
ポイントを紹介

TOOLS 地域・テーマを深掘り  
地域の各種データやテーマ別の  
お役立ち情報をお届けします

#### (3) 若者版・市民協働事業提案制度

- ・若者団体から身近なまちづくりに取り組む事業の提案を募集し、審査のうえ採択された事業について、若者団体と市が協働で取り組む制度。



(4) 地域づくりパートナーシッププロジェクト推進助成事業

- ・地域づくりの段階に応じて、地域課題の現状分析や、複数の団体が連携・協働して行う課題解決の取り組みに対して、3種類（課題調査検証・協働実践・ソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進）の助成により支援を行う。

2 宮城県富谷市

(1) わくわく つながる わたしたちのまちづくり -富谷の協働ガイドライン-

- ・まちづくりに関わるすべての人々が、共に力を合わせ、まちづくりに取り組むための考え方や方向性を共有することを目的としてとりまとめたもの。詳細版と概要版があり、以下は概要版の一部を抜粋。

ガイドラインの目的

**▶ ガイドラインのねらい（趣旨）**  
 富谷市では、2016年の市制移行を機に、同じ目的のために、役割を分担し、市(市役所等)と市民、または市民どうしなどが共に協力して活動する「協働」の手法を再認識して、市民の思いや活動を活かしながら、よりよいまちづくりを進めていこうという機運や取組がこれまでも増して高まってきています。  
 このような中、まちづくりに関わる市民や団体、企業、市などが、よりよいまちにしたいという思いを一つにし、共に力を合わせ、まちづくりに取り組むための考え方や方向性を具体的に示すものが必要となってきました。  
 このことから、市民や団体、企業、市などが、共にまちづくりに取り組むための具体的な考え方や方向性をみんなで共有することを目的とした、わかりやすいガイドライン(指針)を考え、つくることにしました。

**▶ 市が目指す協働のまちづくり**  
 富谷市では、富谷市総合計画基本構想において、「住みたくなるまち日本一」を目指し、健全なまちづくりに向け、市民みんなが協働するまちづくりを実現することを目標にしています。都市化が進み成長を続けている中で、まちの魅力と持続可能性を高め、少子高齢化や災害発生時などの社会の変化に柔軟に対応していくため、世代や立場を超えた多様な人々がつながり、みんなの知恵と力を活かす「オールとみや」の体制で、誰もが「住みたくなる」、そして将来にわたって「住み続けたくなる」まちづくりを進めていきます。

「協働」とは

協働は、色々な立場の人たちが、同じ目的のために、役割を分担し、お互いを尊重しながら、協力して活動することです。

市民、公益的な活動(公共の利益につながる活動)を行う団体や公益法人、事業者、市など、異なる性格を持つ組織・集団が、同じ目的のために役割を分担し、お互いを尊重しながら、同じ目標に立って、連携・協力しあうことをいいます。

また、協働は、課題を解決するための一つの方法として捉えていくことが大切であり、様々な結びつきから、人と人のつながりを広げていくことが、協働の取組の基本となります。



協働を進めるうえで配慮すること

- 目的を共有し、楽しく、無理なく、ゆるやかなつながりと意見を出し合える風とおしのいい活動を心がけましょう。
- 情報を共有し、対話や様々な手段での話し合いを重ね、お互いを知ることで共感と信頼関係を深めましょう。
- それぞれの役割及び責務を理解し、お互いが同じ目線に立って協力するパートナーであることを認めあいましょう。
- それぞれの主体の特性の違い、自主性及び自立性を尊重しましょう。
- 年齢、性別、国籍、心身の状況、社会的及び経済的な状況の違い等に配慮するなど、一人ひとりの個性を尊重しましょう。

協働による活動の進め方



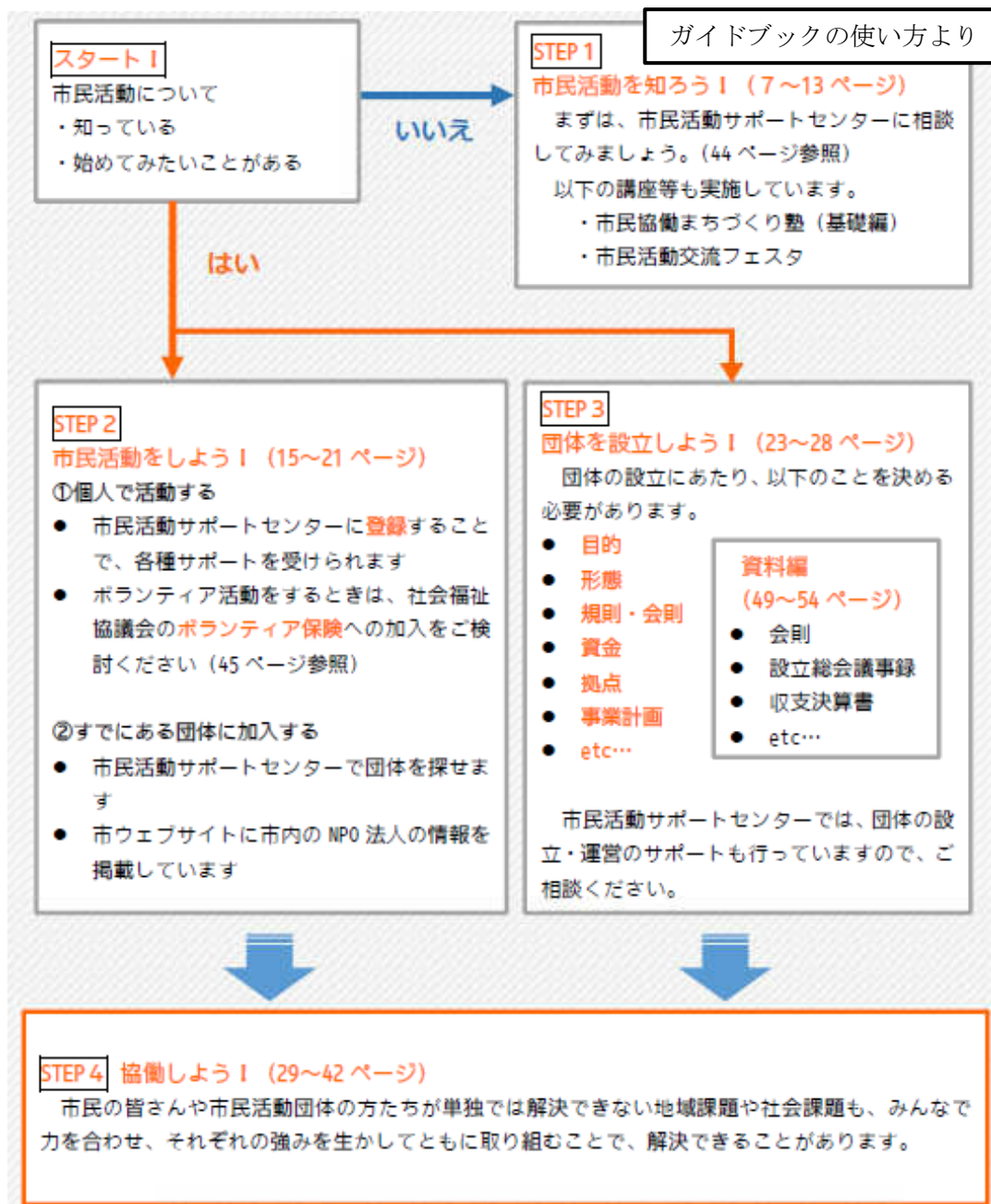
(2) 富谷市市民協働セミナー

- ・市総合計画に掲げる「市民の思いを協働でつくるまち」の一層の推進に向け、市民が協働の基本的な考え方について理解を深め、協働の意識を高めるとともに交流の機会とするため市民向けに開催したもので、上記ガイドラインの作成に向けてのワークショップがこの中で行われた。

### 3 福島県郡山市

#### (1) 市民活動・協働ガイドブック「はじめよう みんなの市民活動」

- ・市民が市民活動や協働をするにあたり、分かりやすい情報を市民視点で提供するため、市民が自ら取材等を行い編集に携わり、2回のワークショップを経て作成された。



#### [参考] 郡山市クラウドファンディング活用促進事業補助金

- ・民間のクラウドファンディングを活用し資金を調達する市民活動団体に手数料を補助することで、市民活動団体に自立的な資金調達を促すとともに、市民公益活動を支援する。
- ※協働の促進に特化した制度ではないが、今後の補助金制度のあり方の参考としたい。





#### 4 岩手県一関市

##### (1) 一関市協働推進ホームページ「輪っしょい!WEB」

- ・協働のまちづくりを推進するために、協働の主体である市民組織、企業、行政に関する情報が掲載されたホームページ。下記のスタッフバンクについても「市民参加・NPO」のページに掲載されている。



##### (2) いちのせき市民活動スタッフバンク（イマカラ）

- ・一関市内で市民が主体となって開催するイベントについて、「スタッフを募集したいイベント」と「地域で活動したい人」をマッチングさせるために、いちのせき市民活動センターが設置したスタッフバンク。

